

保健体育	課題分析 (学力調査結果、定期考査、授業の実態等)	授業改善策	新学習指導要領に向けて	評価(◎○△)
1年	<p>【全国平均・東京都平均より劣っている体力がある】 ○平成30年度、本学年が小学6年生時の体力テストに関するデータはないが、例年の傾向から、筋力・持久力・巧緻性・投力などの体力が全国平均・東京都平均より低い傾向にあると予測できる。</p>	<p>○体力の向上を図る。小中連携の観点から特に持久力と巧緻性を伸ばすため多様な動きができるような導入を工夫し、基礎体力の向上につなげていく。 ○ウォーミングアップ、補強運動を充実させるためにサーキットトレーニングを取り入れる。個人技能、基礎技術の練習方法を工夫することにより1単位時間内の運動量を確保する。 ○基礎技術の習得に努力を要する生徒への声かけを多くする。 ○基礎技術の習得が十分と思える生徒には、自らの課題を探らせ、それを克服する際の支援を行う。</p>	<p>○基礎技術の習得のため自らの課題を探り、それを克服できるようにする。他者と協力をして学び合うことができるようにする。結果を振り返り、自ら改善していくことができるようにする。 ○体力向上のための自らの課題を探り、体力を向上させていくことができるようにする。他者と協力をして高め合うことができるようにする。結果を振り返り、自ら改善していくことができるようにする。</p>	
2年	<p>【全国平均・東京都平均より劣っている体力がある】 ○平成30年度の体力テストの結果を分析することで、男子は、握力・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げの5種目で全国平均・東京都平均より低い傾向がみられることが分かった。また、女子は握力・長座体前屈・立ち幅跳びの3種目で全国平均・東京都平均より低い傾向がみられることが分かった。</p>	<p>○教材の工夫によって思考判断の必要性を理解させ、主体的に技能、体力の向上を図る姿勢を身に付けさせる。補強運動をはじめ積極的に体力の向上を図る活動を組み込んでいく。 ○ウォーミングアップ、補強運動を充実させる。発展的な個人技能、集団的技術の練習方法を工夫することにより1単位時間内の運動量を確保する。 ○発展的な個人技能の習得に努力を要する生徒への声かけを多くする。 ○発展的な個人技能の習得が十分と思える生徒には、自らの課題を探らせ、それを克服する際の支援を行う。</p>	<p>○発展的な個人技能習得のため自らの課題を探り、それを克服できるようにする。他者と協力をして学び合うことができるようにする。結果を振り返り、自ら改善していくことができるようにする。 ○体力向上のための自らの課題を探り、体力を向上させていくことができるようにする。他者と協力をして高め合うことができるようにする。結果を振り返り、自ら改善していくことができるようにする。</p>	
3年	<p>【全国平均・東京都平均より劣っている体力がある】 ○平成30年度の体力テストの結果を分析することで、男子は、握力・50m走・ハンドボール投げの3種目で全国平均・東京都平均より低い傾向がみられることが分かった。また、女子は握力が全国平均・東京都平均より低い傾向がみられることが分かった。</p>	<p>○発展的な技能の重要性を促す指導の工夫により、意欲を高め、技能の一層の向上を図る。 ○ウォーミングアップ、補強運動を充実させるためにサーキットトレーニングのセット数を増やす。集団的技術、戦術の練習やゲームの行い方を工夫することにより1単位時間内の運動量を確保する。 ○集団的な技能の習得に努力を要する生徒への声かけを多くする。 ○集団的な技能の習得が十分と思える生徒には、自らの課題を探らせ、それを克服する際の支援を行う。</p>	<p>○発展的な個人技能と集団的な技能習得のため個人やチームの課題を探り、それを克服できるようにする。他者と協力をして学び合うことができるようにする。結果を振り返り、自ら改善していくことができるようにする。 ○体力向上のための自らの課題を探り、体力を向上させていくことができるようにする。他者と協力をして高め合うことができるようにする。結果を振り返り、自ら改善していくことができるようにする。</p>	